

平成29年度指定管理運営業務評価表

施設名称：大阪府立障害者交流促進センター	指定管理者：ファインプラザ大阪運営事業共同体	指定期間：平成25年4月1日～平成30年3月31日	所管課：福祉部 障がい福祉室 自立支援課
----------------------	------------------------	---------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C			
I 提案の履行状況に関する項目	<p>①施設の設置目的 (身体障害者福祉センターA型の機能) 及び管理運営方針</p> <p>・施設の設置目的に沿った運営がなされているか。</p> <p>【指定管理者選定時の選定基準】</p> <p>1 施設の設置目的を理解しているか (交流施設であること、身体障がい者福祉センターA型施設であること)</p> <p>2 提示した管理運営方針 (「専門性の高い職員の指導」「誰もが安心してスポーツに取り組むことができる」「最小限の経費で最大の効果が上がる運営」と、事業者が提案した管理運営方針に合致するか)</p> <p>3 提案事業者・法人として社会貢献活動、環境活動、法令遵守などの取組み状況</p>	<p><b>(1) スポーツ振興を中心に障がい者の福祉の増進</b></p> <p>① 陸上、水泳、卓球、アーチェリー、FDなどの競技別にアスリートの競技能力を高めるプログラムを体系的に実施</p> <p>&lt;体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府の福祉行政に精通した者や経験豊富な上級障がい者スポーツ指導員5人を配置</li> </ul> <p>&lt;総合スポーツ大会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回大阪府障がい者スポーツ大会 実施 5/14～5/28 (5日間・6競技) 参加 895人</li> <li>・第17回全国障害者スポーツ大会への大阪府選手団の派遣 開催県 愛媛県 開催期間 10/28～10/30 派遣期間 10/27～10/31 派遣選手団 150人 (選手100人・役員50人) 獲得メダル数 96個 (個人競技94個、団体競技2個)</li> </ul> <p>&lt;記録会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上記録会 実施 4/22 90人</li> <li>・水泳記録会 実施予定 3/21</li> </ul> <p>&lt;種目別大会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿障がい者フライングディスク大会 4/29 158人</li> <li>・バリアフリーアーチェリー大会 10/22 83人 (台風の為中止)</li> <li>・大阪車いすハンドボール大会 11/5 101人</li> <li>・大阪ボッチャ大会 11/23 138人</li> <li>・バドミントン大会 12/23 111人応募 (予定)</li> <li>・卓球大会 2/11 (予定)</li> <li>・サウンドテーブルテニス大会 (視覚障がい者卓球) 2/11 (予定)</li> </ul> <p>② 大学連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪体育大学との連携協力に関する覚書の締結</li> <li>・ほっぷ・すてっぷ・ダンス (旧びかっとダンス名称変更) 提案6回 120人 実施7回 189人</li> <li>・ずっとダンス (H28新規実施) 実施12回 494人</li> <li>・みんなでつくる発表会 実施1回 119人</li> </ul>	S	<p><b>【評価の目安】</b></p> <p>S=提案内容以上の事業実績をあげている。 (例：市町村など身近な場所で障がい者スポーツ活動を支援した結果、活動の定着に至った。など。)</p> <p>A=提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：大学・企業との連携、研究会を設置し、検討を開始している。など。)</p> <p>B=提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っている。 (例：研究会の設置について、具体的な調整を進めている。など。)</p> <p>C=提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例：館内事業のみを行い、外部団体等への普及啓発や連携活動を行っていない。など。)</p> <p><b>【自立支援課の評価】</b></p> <p>(1) スポーツ振興を中心に障がい者の福祉の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国障害者スポーツ大会で設定されている競技種目を中心としたスポーツ教室を設定するなど、提案どおりの事業を実施している。</li> <li>・センター主催の大会・記録会は提案どおり実施または実施予定であり、実施済み事業についてはいずれも多くの参加者を集めており、競技力の向上に努めている。</li> <li>・大学連携事業については、提案以外にも発表会やダンス教室、障がい者スポーツ研修会を実施するなどして、障がい者スポーツの裾野拡大に努めている。</li> </ul>	S	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・車イステニス練習会 提案 2回 60人 12/16 応募 10人 ※3月予定</li> <li>・大阪体育大学体育実技研究部障がい者スポーツ研修会 実施 1回 18人 ➢以上の5事業 連携大学=大阪体育大学</li> <li>・ふれあい乗馬体験講習会 提案 1回 10人 実施 2回 78人 ➢連携大学=大阪府立大学</li> </ul> <p>(3) 相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士による生活相談 提案 12回 実施 14回 (11月末現在)</li> <li>・障がい者スポーツ指導員によるスポーツ相談 提案 24回 実施 39回 (11月末現在)</li> <li>・健康運動指導士による健康相談 提案 24回 実施 36回 (11月末現在)</li> <li>・ファインプラザ利用者相談 (随時) 提案 240回 実施 942回 (11月末現在)</li> </ul> <p>(4) 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 実施 8/19~2/4(10日間) 受講 26人</p> <p><b>(2) 競技スポーツ分野の指導力を高めるための調査研究</b></p> <p>① 障がい者スポーツの振興に関する研究会 委員=学識経験者 (大学教授)、障がい者スポーツ団体、パラリピアン、障がい者スポーツ指導員 等</p> <p>●第1回 H25.12.18 &lt;内容&gt; 研究テーマの確定 「障がい者スポーツの競技力向上のためのトレーニングプログラムの開発」など計3テーマ</p> <p>●第2回 H26.9.3 &lt;内容&gt; ・クロストレーニングを取り入れた「水泳」の強化プログラム、</p> <p>●第3回 H27.12.2 &lt;内容&gt; ・「障がい者スポーツ競技力向上プログラム (素案)」 ・「障がい者スポーツ大会運営モデル (素案)」</p> <p>●第4回 H28.8.31 &lt;内容&gt; ・「初心者を対象とした指導プログラム (仮称)」【水泳】 ・障がい者スポーツ競技力向上プログラム (素案)」</p> <p>●第5回 H28.11.9 &lt;内容&gt; ・「初心者を対象とした指導プログラム (仮称)」【水泳】 ・障がい者スポーツ競技力向上プログラム (素案)」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業については、11月末現在において提案回数を大きく上回っている。</li> </ul> <p>・障がい者スポーツ指導員の養成について、提案通り行っている。</p> <p><b>(2) 競技スポーツ分野の指導力を高めるための調査研究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会について、1回開催。</li> <li>・研究成果をどのように活用するか等の具体策提示を期待する。</li> </ul>	<p>利用者相談は、利用者の段階に応じて実施しているが、「支援」と「相談」を区別して相談実績数を計上すること。</p>
--	--	--	--	---

		<p>●第6回 H29.8.16</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障がい者スポーツ競技力向上プログラム（仮称）」</li> <li>・「障がい者スポーツ大会運営プログラム（仮称）」</li> </ul> <p><b>(3) 地域における障がい者スポーツを振興するための事業</b></p> <p>① 地域スポーツ振興課を設置（職員2名配置）</p> <p>② 地域展開事業として、大阪府視覚障害者福祉協会、府立成美高校、羽曳野市立河原城中学校、泉南市子ども総合支援センター、守口市八雲東小学校など小中高等学校、障がい者団体等に出向きスポーツ活動支援 提案 100回 10,000人 実施 74回 9,229人（11月末現在）</p> <p>※地域展開事業（出前事業、研修受入、指導員派遣等）の利用促進を図るため、大阪府教育庁及び市町村教育委員会を通じ、府立高校、府立支援学校、小・中学校に教員を対象とした、「障がい者スポーツ体験研修」の案内を送付。</p> <p>また、研修参加教員にPRを行った結果、事業申込みや問い合わせが広がり、地域展開を数回実施した学校等においては、障がい者スポーツが定着し、自主開催が可能になり、障がい者スポーツ用具の貸し出しが増加。</p> <p>※PR強化として、支援学校長会・支援学校PTA会・支援学校教員に直接PRを行うとともに、大阪府障がい者スポーツ大会市町村説明会において市町村障害者スポーツ担当者に事業紹介を実施</p> <p>③スポーツボランティア講習会 2回 41人</p> <p><b>(4) マルチジョブ化による人件費の軽減</b></p> <p>① 利用受付、電話受付業務等については、管理部門、事業部門の区別なく誰もが行う</p> <p>② 指導現場においては、水泳のスポーツコーチがトレーニング室においてトレーニングの指導を行うなど、専門分野を重視しつつも、すべての指導員が専門分野を超えて指導に従事</p> <p><b>(5) 省エネ対策</b></p> <p>① 関西エコオフィス宣言にそって、冷暖房期間、適切な温度を設定</p> <p><b>上記の事項を着実に実施することにより、身体障害者福祉センターA型の機能をいかんなく発揮した。</b></p>	<p>(3) 地域における障がい者スポーツを振興するための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域展開事業について、実施回数、参加者数ともに11月末現在で概ね提案通りである。</li> <li>・イベントや説明会などにおいても障がい者スポーツ普及のために、チラシを配るなどすることでPRに努めていた。</li> <li>・ボランティア講習会について、提案以上に実施している。</li> </ul> <p>(4) マルチジョブ化による人件費の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチジョブ化については、効率的な人員配置や指導員のスキルの平準化により業務を分散させ、地域展開事業においては1回当たりの人員を削減するとともに、実施回数を増やしている。トータルコストとして、予算の範囲内での運営を実施することができている。</li> </ul> <p>(5) 省エネ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案通り実施している</li> </ul>	
--	--	--	--	--

		<p><b>(1) 特に障がい者・高齢者に配慮し、すべての利用者に平等な施設サービスの提供</b></p> <p>① 人権問題研修 提案 2 回 ・人権に関わる講習会の受講等 実施 3 回 10/10 「LGBTについて」 法人研修 11/24 「サバーフェスティバルから身を守るには」 大阪府南堺警察署 11/28 「ハラスメントのない職場づくりのためのセミナー」 労働局・弁護士会</p> <p>② すべての障がい種別や幅広い年齢に対応した多様なスポーツ教室 ・チャレンジスポーツ（ファインプログラム：障がい者優先、リハスピーチ：脳血管疾患の後遺症のある方、重度身体障がい者個別水泳指導など） 提案 300 回 3,132 人 実施 201 回 2,654 人（11月末現在） ・サウンドテーブルテニス練習会・アスリート強化練習会 (視覚障がい者卓球) 提案 6 回 90 人 実施 4 回 37 人（11月末現在） ・ユース水泳（身体）教室 提案 24 回 240 人 実施 20 回 70 人（11月末現在） ・ユース水泳（知的）教室 提案 48 回 480 人 実施 18 回 265 人（11月末現在） ・ジュニア水泳（身体）教室 提案 48 回 1,440 人 実施 20 回 224 人（11月末現在） ・ジュニア水泳（知的）教室 提案 48 回 1,440 人 実施 21 回 645 人（11月末現在） ・キッズ水泳 提案 24 回 960 人 実施 10 回 330 人（11月末現在） ③ 総合受付に利用案内、送迎バス運行時刻表、料金表等を配置 玄関ホール右側にファインプラザ大阪、左側に障がい者スポーツ協会の掲示板を配置し、各事業案内、トピックス等を掲示 また、ロビー正面には大型モニターにより事業案内などを分かり易く案内 さらには、視覚障がい者対応として、受付前と三階ロビー及び一階エレベータ前に点字による施設・利用案内板を設置 ④ 聴覚障がい者対応として ・受付に手話通訳者を配置 ・イベント開催時手話通訳者を配置 ⑤ 視覚障がい者対応として ・点字パンフレットを作成 ⑥ メールマガジンを月 2 回（火曜）発行、スポーツ・文化事業やイベントの報告などを掲載するスタッフブログの随時更新 また、機関紙「アベニュー」の発行及び点字版を作成 ⑦ 利用案内の英語版を作成 ⑧ 館内案内表示に英語表示を追加</p>	<p><b>【評価の目安】</b></p> <p>S = 提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：提案書の内容については、すべて実施済み。など。)</p> <p>A = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、内容についても具体的に決定している。 (例：事業実施日が到来していない。など。)</p> <p>B = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施見通しも立っている。 (例：事業実施の関係者調整を行っている段階である。など。)</p> <p>C = 提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例：研修の実施予定なし、機関誌の未発行など、事業実施の目途が立っていない。など。)</p> <p><b>【自立支援課の評価】</b></p> <p>(1) 特に障がい者・高齢者に配慮し、すべての利用者に平等な施設サービスの提供 ・提案どおり幅広い障がい種別や年齢層に対応したプログラムをそろえて実施している。参加者数が目標に達していないものもあり、参加者募集の方法などに工夫の余地がある。 ・手話通訳者の配置、点字パンフレットの作成、車椅子を搭載可能なリフト付きバスによる送迎など、障がい者が利用するに当たり合理的な配慮を行っている。 ・英語版の利用案内や館内表示を行うことで、外国人でも利用しやすい環境づくりに努めている。 ・メールマガジンの発行や、「アベニュー」の発行、スタッフブログは提案通りに実施されたが、効果は不明。 ・研修の実施や案内板の設置などに加え、すべての障がい種別などに応じた教室の開催や、コミュニケーション手段を確保するなど、提案どおりの事業を実施している。</p>	
② 平等な利用を図るために具体的な手法・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公平なサービス提供、対応(合理的な配慮の実施がなされているか)</li> </ul> <p><b>【指定管理者選定時の選定基準】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>事業等の内容が平等利用を担保する内容となっているか</li> <li>高齢者、障がい者等に対して配慮をする事項について提案に基づく適切な取組みがなされているか</li> </ol>	<p>A</p>		A

		<p><b>(2) 管理運営にかかる情報公開請求への適切な対応</b></p> <p>① フайнプラザ大阪運営事業共同体情報公開規程の整備 (H25.4)</p> <p><b>(3) 施設運営にかかる要望、苦情に対する迅速、適切な対応</b></p> <p>① フайнプラザ大阪運営事業共同体苦情解決規程を整備し、苦情解決責任者、受付窓口責任者を指定、また、第三者委員会を設置し、三名に委員を委嘱 (H25.4)</p> <p>② フайнプラザ大阪の事業運営について、地域や利用者の視点から評価・提言を行うための運営協議会を開催 実施予定 3月</p> <p>③ 「ご意見箱」を総合受付横、3階ロビー、プール受付横の3カ所に設置し、毎日回収対応 提案、苦情については、可能な限り取り入れ また、回答は掲示板に掲示し公表 意見等件数 43件 (11月末)</p> <p>④ 施設利用者との意見交換会 11/12 (出席者) 利用者=13人、 主催者=センター4人、大阪府3人</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱は受付職員から見えない所に置いて欲しい。</li> <li>・体育館のネットが床にたれた状態でつまづく。 (以上については、翌日以降に直ちに改善した。)</li> <li>・グラウンドは良く整備されて非常に良い状態</li> </ul> <p><b>上記事項を着実に実施することにより、公平なサービスの提供、対応ができる。</b></p>	S	<p>(2) 管理運営にかかる情報公開請求への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案どおり規定を制定している。公開請求は現在のところなし。</li> </ul> <p>(3) 施設運営にかかる要望、苦情に対する迅速、適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決規定、運営協議会の設置など、提案どおりの事業を実施している。</li> </ul>	
③利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増加のための工夫</li> </ul> <p><b>【指定管理者選定時の選定基準】</b></p> <p>1 提案事業に関するもの (第4次大阪府障がい者福祉計画・大阪府スポーツ推進計画に沿った提案か) (独創性、実現可能性、利用者増加の期待性、サービス向上のための取組み内容)</p> <p>2 年間の広報計画の内容は適切か (独自ネットワークの活用、親しみやすさ、利用者増加の期</p>	<p><b>(1) 利用者増加のための工夫</b></p> <p>① 「障がい者スポーツの振興に関する研究会」 【再掲】 <b>P2 参照</b></p> <p>② ひろめるー「障がい者スポーツ市町村展開事業」 車椅子バスケットボール体験教室の実施をはじめ各市町村の教育委員会や学校等に出向いて障がい者スポーツの啓発、指導などの取り組みを実施 ・地域展開事業 【再掲】 <b>P3 参照</b></p> <p>※PR 強化として、支援学校長会・支援学校PTA会・支援学校教員に直接PRを行うとともに、大阪府障がい者スポーツ大会市町村説明会において市町村障がい者スポーツ担当者に事業紹介を実施 ・大阪府教育庁放課後子ども総合プラン事業における「教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修」において活用できる障がい者スポーツのプログラム紹介</p>	S	<p><b>【評価の目安】</b></p> <p>S = 提案内容以上の事業実績をあげている。 (例：新たな取り組みにより、新規利用者の拡大を図っている。など。)</p> <p>A = 提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：提案内容どおりの事業を的確かつ確実に実施している。など。)</p> <p>B = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しが立っている。 (例：事業実施に向け具体的な調整を進めている。など。)</p> <p>C = 提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例：研究会の設置について、委員の人選が決まっていない。など。)</p>	S

		<p>待性)</p> <p>3 自主事業は、利用者の増加のサービスの向上を図るための工夫がなされているか (提案の有無、独創性、利用者増加の期待性)</p> <p>4 施設の設備、機能をフル活用した内容となっているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府×大阪地区トヨタ販売店主催 7/21 「STOP! 飲酒運転トヨタボッチャ Bar」に障がい者スポーツ展示</li> <li>・共に生きる障がい者展</li> <li>障がい者スポーツ体験、パネル展示</li> <li>・ABC ラジオ番組で「障がい者スポーツについて」取材・放送</li> </ul> <p>③ たのしむ—「交流促進事業・生涯スポーツ事業」</p> <p>チャレンジスポーツとしてのリハスポート（脳卒中後遺症、重度障がい者個別水泳教室）や交流促進を推進するための健康増進推進講習会の開催、また、体験型として障がい者プール体験事業などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジスポーツ</li> </ul> <p>提案 300 回 3,132 人 実施 201 回 2,654 人 (11月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者プール体験事業</li> </ul> <p>提案 7 回 140 人 実施 14 回 178 人 (11年末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ体験事業</li> </ul> <p>提案 6 回 120 人 実施 6 回 123 人 (11月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験事業</li> </ul> <p>提案 6 回 120 人 実施 5 回 124 人 (11年末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験事業</li> </ul> <p>実施 2 回 6 人 (11年末現在)</p> <p>④ きわめる—「競技スポーツ分野の重点実施」</p> <p>大阪府障がい者スポーツ大会の開催をはじめアスリート強化のために陸上、水泳の強化練習などを実施し、選手のレベル向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート強化練習会</li> </ul> <p>提案 499 回 6,230 人 実施 412 回 6,022 人 (11月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手育成練習会</li> </ul> <p>提案 123 回 6,060 人 実施 202 回 4,116 人 (11年末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳教室、サマースクール</li> </ul> <p>提案 212 回 5,310 人 (870 人、2,220 組) 実施 141 回 2,173 人 (11月末現在)</p> <p>⑤ つたえる—「H P の活用・センター情報誌の発刊等の情報発信」</p> <p>機関紙「アベニュー」やホームページを活用して情報発信に努力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H P、メルマガ、スタッフブログの随時更新</li> <li>・機関紙「アベニュー」の発行</li> </ul> <p>発行回数 4 回 (727 か所に送付)</p>	<p><b>【自立支援課の評価】</b></p> <p>(1) 利用者増加のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会の実施について、①(2)(2ページ参照)のとおり、提案どおり実施されている。</li> <li>・府立支援学校長会や、各団体主催の競技大会、大阪府の実施するイベント等への出席のほか、民間主催イベント（ボッチャ Bar）にも新たに参加して PR を実施した。</li> <li>・幅広い障がい種別や年齢層に対応したプログラムをそろえて実施し、いずれも 11 月末現在で概ね提案通りである。</li> </ul> <p>・メールマガジンの発行や、「アベニュー」の発行、スタッフブログは提案通りに実施されたが、効果は不明。(再掲)</p>	
--	--	--	--	---	--

		<p>⑥ つながる—「大阪府・障がい者スポーツ団体N P O法人系事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携           <p>「ファインエリアフェスティバル」(ゲスト、元オリンピック競泳選手)</p> <p>実施 10/15 後援 11 团体、協力 5 团体 参加 25 团体 来場者 7,306 人</p> <p>「クリスマスのつどい」</p> <p>開催予定 12/16 申込者数 184 人</p> <p>「こどもの日のつどい」</p> <p>実施 5/5 来場者 2,451 人</p> <p>「新春卓球まつり」</p> <p>開催予定 1/8 「もちつき大会」</p> <p>開催予定 1/8</p> </li> <li>・大学との連携 【再掲】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">P1 参照</span></li> <li>・競技団体との連携           <p>「大阪障がい者フライングディスク協会」の事務局運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町主催のフライングディスク大会への審判員派遣</li> </ul> <p>「近畿身体障害者水泳連盟」の事務局運営</p> <p>「大阪府知的障がい者サッカー教室【大阪府サッカー協会】</p> <p>実施 10/1</p> <p>「第1回大阪府障がい者サッカーミーティング」【大阪府サッカー協会】 参加 6/10</p> <p>「障がい者アイススケート教室」【大阪府スケート連盟】</p> <p>実施予定 2/15・16 (予定)</p> <p>「第3回大阪府障がい者ダブルスボウリング大会」【大阪府ボウリング連盟】 実施 1/28 (予定)</p> <p>「ファインプラザ大阪大会記録会」</p> <p>陸上記録会 実施 4/22 90 人</p> <p>近畿障がい者フライングディスク大会 4/9 158 人</p> <p>バリアフリーアーチェリー大会 実施 10/22 83 人</p> <p>大阪車いすハンドボール大会 実施 11/5 101 人</p> <p>大阪ボッチャ大会 実施 11/23 138 人</p> <p>バドミントン大会 実施 12/23 (予定)</p> <p>卓球大会 実施 2/11 (予定)</p> <p>サウンドテーブルテニス大会 (視覚障がい者) 実施 2/11 (予定)</p> <p>水泳記録会 実施 3/21 (予定)</p> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元オリンピック選手を招聘したイベントは実施しているものの、PR方法には改善の余地があるため、今後の広報活動の工夫に期待する。</li> </ul> <p>・大阪府障がい者スポーツ協会等と連携し、大会の開催や指導教室等を実施した。</p>	
--	--	---	--	--

		<p>(提案外)</p> <p>近畿身体障害者水泳選手権大会 実施 7/2 365人</p> <p>バリアフリーバドミントン大会 実施 4/23 68人</p> <p>⑦ 「大阪府障がい者スポーツ協会」の事務局運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪府障がい者スポーツ指導員現任者研修会」 実施予定 2/10</li> <li>・「ひらかたハーフマラソン視覚障がい者の部」 実施予定 1/8 16人</li> <li>・スポーツ庁・大阪府委託事業「地域における障がい者スポーツ普及促進事業」(ファインプラザ大阪、国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)、府立摂津高校、) 実施 3回</li> <li>・大阪府教育庁放課後子ども総合プラン事業における「教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修」において活用できる障がい者スポーツのプログラム紹介</li> <li>・大阪府教育庁放課後子ども総合プラン事業において、泉佐野市からの依頼に基づきフライングディスク教室実施 実施 8/18 20人</li> <li>・スポーツ観戦事業 サッカー (J リーグ) 404名、プロ野球 449名 (11月末現在)、 12月以降の予定 ラグビー(日本選手権)、バレーボール(V リーグ)、 バスケットボール (JBL)、卓球 (大阪国際招待選手権)</li> </ul> <p>⑧ 自主事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆったりヨガ教室」 実施 26回 1,425人 (11月末現在)</li> </ul> <p>⑨ トップアスリートの情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール元日本代表選手による「車イスバスケットボールに挑戦」イベント開催 実施 11/18</li> </ul> <p>⑩ 利用者増加のための新たな取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・硬式少年野球の利用許可 (使用内容に制限)</li> <li>・ファインプラザ大阪のダンス事業「みんなでつくる発表会」を「共に生きる障がい者展」に出展</li> <li>・府立支援学校 P T Aに対し、ファインプログラム等の事業広報実施</li> <li>・「ファインエリアフェスティバル」用のぼりを新調し、近隣住民、通行人に賑わいをアピール</li> <li>・情報資料室充実のために府立中央図書館に図書の寄贈申入れ (74 冊の図書の受入れ)</li> <li>・HPを分かり易くリニューアル</li> <li>・堺南消防署と相互リンクを貼り施設 PR を実施</li> <li>・3日以上の連続休所日にならないよう配慮するため、大阪府と協議し、休所日を変更</li> <li>・ホームページに長期施設予約状況を掲載</li> <li>・老朽化した大ホール床張替え</li> <li>・シャワートイレ及び便座クリーナーの設置</li> <li>・1階障がい者専用駐車場の整備</li> </ul>	<p>・利用者からの声を反映して、長期連続休所日が発生しないように休所日を変更するなど、利便性の向上に取り組んでいる。</p>	
--	--	--	---	--

## (2) 利用者数の推移

これまでの取り組みによって、平成 25 年度以降順調に利用者数は増加していたが、平成 29 年 10 月 17 日にプール天井からの落下物と思われる金属が発見され、以降、安全確認調査のためプール利用休止となった。そのため、平成 29 年度の利用者は減少した。

◎利用者数（障がいのない人）の推移（4月1日～11月30日）

年度	障がい者	障がいのない人 (介助者含む)	計
25	62,279	48,578	110,857
26	64,443	47,506	111,949
27	65,632	54,145	119,777
28	67,594	52,961	120,555
29	61,847	49,959	111,806

上記の実施状況から、利用者増加を図るための積極的な事業展開、広報活動ができた。

## (2) 利用者数の推移

・プール天井からの落下物が発見されたため、安全確認調査のため平成 29 年 10 月 17 日よりプール利用を休止。10 月は前年同月比で障がい者 26.5% 減、障害のない人 14.0% 減、11 月は前年同月比で障がい者 39.8% 減、障害のない人は 12.4% 減。

(障がい者

H28/10 : 12,599 人 ⇒ H29/10 : 9,252 人 26.5% 減

H28/11 : 9,867 人 ⇒ H29/11 : 5,939 人 39.8% 減)

(障がいのない人

H28/10 : 6,657 人 ⇒ H29/10 : 6,657 人 14.0% 減

H28/11 : 4,177 人 ⇒ H29/11 : 3,656 人 12.4% 減)

・プール利用休止という特殊要因を除けば、障がい者の施設利用率・利用者数は堅調に推移しており、施設の設置目的は達成されている。